

2年1章 式の計算 プリント No. 15

【式による説明1 (教科書 21~24ページの学習の準備)】

年 組 番氏名 角 辰彦

2年1章 式の計算 プリント No. 16

【式による説明2 (教科書 21ページ)】

年 組 番氏名 角 辰彦

月 日 実施

[keypoint]

教科書の21~24ページの問題を解くために、整数 n を使った「数の表し方」について学習します。

25 次の数を、ある整数を表す文字 n を使って表しなさい。(各10点)

(1) 2つの続いた整数

(例) $n, n+1$

(例) $(n-1, n)$

(2) 3つの続いた整数

(例) $n, n+1, n+2$

(例) $(n-1, n, n+1)$

(3) 偶数

(例) $2n$

(4) 2つの続いた偶数

(例) $2n, 2n+2$

(例) $(2n-2, 2n)$

(5) 奇数

(例) $2n+1$

(6) 2つの続いた奇数

(例) $2n+1, 2n+3$

(例) $(2n-1, 2n+1)$

(7) 2つの続いた3の倍数

(例) $3n, 3n+3$

(例) $(3n-3, 3n)$

(8) 5で割ると3余る整数

(例) $5n+3$

26 次の数を、ある整数を表す文字を必要だけ使って表しなさい。(各10点)

(1) 2つの整数

m, n

(2) 2つの奇数

$2m+1, 2n+1$

[keypoint]

教科書の21ページの内容です。教科書を見ていねいに読み、一文一文理解しながら学習を進めましょう。自分で説明できるかどうか確認しましょう。教科書で扱われている分量は1ページの半分程度ですが、時間をかけてじっくりと学習することが大切です。

27 次の成り立ちを、文字を使って説明しなさい。(各25点)

(1) 3つの続いた整数の和は3の倍数になる。

(1) 3つの続いた整数のうち、真ん中の整数を n とすると、3つの続いた整数は

$n-1, n, n+1$

と表される。したがって、それらの和は

$(n-1) + n + (n+1) = 3n$

n は整数だから、 $3n$ は3の倍数である。したがって、3つの続いた整数の和は3の倍数になる。

(2) 5つの続いた整数の和は5の倍数になる。

(2) 5つの続いた整数のうち、真ん中の整数を n とすると、5つの続いた整数は

$n-2, n-1, n, n+1, n+2$

と表される。したがって、それらの和は

$(n-2) + (n-1) + n + (n+1) + (n+2) = 5n$

n は整数だから、 $5n$ は5の倍数である。したがって、5つの続いた整数の和は5の倍数になる。

(3) 2つの続いた整数の和は奇数になる。

(3) 2つの続いた整数のうち、小さい方の整数を n とすると、2つの続いた整数は

$n, n+1$

と表される。したがって、それらの和は

$n + (n+1) = 2n+1$

n は整数だから、 $2n+1$ は奇数である。したがって、2つの続いた整数の和は奇数になる。

(4) 2つの奇数の和は偶数になる。

(4) 2つの奇数は整数を m, n を用いて、

$2m+1, 2n+1$

と表される。したがって、それらの和は

$(2m+1) + (2n+1)$

$= 2m + 2n + 2$

$= 2(m+n+1)$

$m+n+1$ は整数だから、 $2(m+n+1)$ は偶数である。したがって、2つの奇数の和は偶数になる。

2年1章式の計算 プリント No. 17
【式による説明3 (教科書 21 ページ)】

年 組 番氏名 角田 真由

2年1章式の計算 プリント No. 18
【式による説明4 (教科書 22 ページ)】

年 組 番氏名 角田 真由

28 次の成り立つわけを、文字を使って説明しなさい。(各 25 点)

- (1) 2 つの続いた偶数の和は偶数になる。
 $2n, 2n+2$
 と表される。したがって、それらの和は
 $2n + (2n + 2)$
 $= 4n + 2$
 $= 2(2n + 1)$
 $2n + 1$ は整数だから、 $2(2n + 1)$ は偶数である。したがって、2 つの続いた偶数の和は偶数になる。

- (2) 2 つの続いた奇数の和は 4 の倍数になる。
 $2n-1, 2n+1$
 と表される。したがって、それらの和は
 $(2n-1) + (2n+1) = 4n$
 n は整数だから、 $4n$ は 4 の倍数である。したがって、2 つの続いた奇数の和は 4 の倍数になる。

【keypoint】

教科書の 22 ページの内容です。21 ページと同様に、教科書をしていねいに読み、一文一文理解しながら学習を進めましょう。自分で説明の解答が書けるようになったら、人に説明できるかどうか確認しましょう。

29 次の問いに答えなさい。(各 20 点)
 (1) 2 けたの自然数を、十の位を a 、一の位を b として表しなさい。

$$10a + b$$

(2) 3 けたの自然数を、百の位を a 、十の位を b 、一の位を c として表しなさい。

$$100a + 10b + c$$

(3) 4 けたの自然数を、千の位を a 、百の位を b 、十の位を c 、一の位を d として表しなさい。

$$1000a + 100b + 10c + d$$

30 次の成り立つわけを、文字を使って説明しなさい。

(1) 2 けたの自然数と、その数の一の位の数字と十の位の数字を入れかえた数の和は 11 の倍数になる。

(1) 2 けたの自然数の十の位を x 、一の位を y とすると
 入れかえる前の数は、 $10x + y$
 入れかえた後の数は、 $10y + x$
 と表される。したがって、それらの和は
 $(10x + y) + (10y + x)$
 $= 11x + 11y$
 $= 11(x + y)$
 $x + y$ は整数だから、 $11(x + y)$ は 11 の倍数である。したがって、2 けたの自然数と、その数の一の位の数字と十の位の数字を入れかえた数の和は 11 の倍数になる。

(2) 2 けたの自然数から、その数の一の位の数字と十の位の数字を入れかえた数をひいた差は 9 の倍数になる。

(2) 2 けたの自然数の十の位を x 、一の位を y とすると
 入れかえる前の数は、 $10x + y$
 入れかえた後の数は、 $10y + x$
 と表される。したがって、入れかえる前の数から入れかえた後の数をひいた差は
 $(10x + y) - (10y + x)$
 $= 9x - 9y$
 $= 9(x - y)$
 $x - y$ は整数だから、 $9(x - y)$ は 9 の倍数である。したがって、2 けたの自然数から、その数の一の位の数字と十の位の数字を入れかえた数をひいた差は 9 の倍数になる。

2年1章式の計算 プリント No. 19
【等式の変形1 (教科書25,26ページ)】

年 月 日 実施

年 組 番 氏 名

角 氏 答

〔keypoint〕
教科書の25,26ページの内容です。「目的
に応じて」式を変形することについて学習し
ます。

31 次の等式を〔 〕の中の文字について解き
なさい。(各10点)

(1) $a + 2b = 5$ [a]
 $a = -2b + 5$

(2) $3a - 12b = -6$ [a]
 $3a = 12b - 6$
 $\frac{3a}{3} = \frac{12b}{3} - \frac{6}{3}$
 $a = 4b - 2$

(3) $15a + 5b = 20$ [b]
 $5b = -15a + 20$
 $\frac{5b}{5} = \frac{-15a}{5} + \frac{20}{5}$
 $b = -3a + 4$

(4) $6a - 12b = 30$ [b]
 $-12b = -6a + 30$
 $\frac{-12b}{-12} = \frac{-6a}{-12} + \frac{30}{-12}$
 $b = \frac{1}{2}a - \frac{5}{2}$

(5) $2a + 3b = 5$ [a]
 $2a = -3b + 5$
 $\frac{2a}{2} = \frac{-3b}{2} + \frac{5}{2}$
 $a = -\frac{3}{2}b + \frac{5}{2}$

/ 100

(6) $ab = 8$ [a]
 $\frac{ab}{b} = \frac{8}{b}$
 $a = \frac{8}{b}$

(7) $-4ab = -24$ [b]
 $\frac{-4ab}{-4a} = \frac{-24}{-4a}$
 $b = \frac{6}{a}$

(8) $5ab = -7$ [a]
 $\frac{5ab}{5b} = \frac{-7}{5b}$
 $a = -\frac{7}{5b}$

(9) $2ab + b = -10$ [a]
 $2ab = -b - 10$
 $\frac{2ab}{2b} = \frac{-b}{2b} - \frac{10}{2b}$
 $a = -\frac{1}{2} - \frac{5}{b}$

(10) $-ab^2 + 3bc = 9$ [a]
 $-ab^2 = -3bc + 9$
 $\frac{-ab^2}{-b^2} = \frac{-3bc}{-b^2} + \frac{9}{-b^2}$
 $a = \frac{3c}{b} - \frac{9}{b^2}$

2年1章式の計算 プリント No. 20
【等式の変形2 (教科書25,26ページ)】

年 月 日 実施

年 組 番 氏 名

角 氏 答

32 次の等式を〔 〕の中の文字について解き
なさい。(各10点)

(1) $\frac{1}{3}ab = c$ [a]
 $3 \times \frac{1}{3}ab = 3 \times c$
 $ab = 3c$
 $\frac{ab}{b} = \frac{3c}{b}$
 $a = \frac{3c}{b}$

(2) $\frac{2}{5}ab = \frac{4}{15}c$ [a]
 $\frac{5}{2} \times \frac{2}{5}ab = \frac{5}{2} \times \frac{4}{15}c$
 $ab = \frac{2}{3}c$
 $\frac{ab}{b} = \frac{2}{3}c \times \frac{1}{b}$
 $a = \frac{2c}{3b}$

(3) $c = 2(a+b) + 10$ [a]
 $c = 2a + 2b + 10$
 $-2a = 2b - c + 10$
 $\frac{-2a}{-2} = \frac{2b}{-2} - \frac{c}{-2} + \frac{10}{-2}$
 $a = -b + \frac{c}{2} - 5$

(4) $l = 2(a+b)$ [a]
 $2(a+b) = l$
 $\frac{2(a+b)}{2} = \frac{l}{2}$
 $a+b = \frac{l}{2}$
 $a = -b + \frac{l}{2}$

(5) $S = ab$ [a]
 $ab = S$
 $\frac{ab}{b} = \frac{S}{b}$
 $a = \frac{S}{b}$

(6) $S = \frac{1}{2}ab$ [a]
 $2 \times S = 2 \times \frac{1}{2}ab$
 $2S = ab$
 $ab = 2S$
 $\frac{ab}{b} = \frac{2S}{b}$
 $a = \frac{2S}{b}$

(7) $S = \frac{1}{2}(a+b)h$ [a]
 $\frac{2}{h} \times S = \frac{2}{h} \times \frac{1}{2}(a+b)h$
 $\frac{2S}{h} = a+b$
 $a = -b + \frac{2S}{h}$

(8) $S = \frac{1}{2}(a+b)h$ [h]
 $\frac{2}{a+b} \times S = \frac{2}{a+b} \times \frac{1}{2}(a+b)h$
 $\frac{2S}{a+b} = h$
 $h = \frac{2S}{a+b}$

(9) $l = 2\pi r$ [r]
 $2\pi r = l$
 $\frac{2\pi r}{2\pi} = \frac{l}{2\pi}$
 $r = \frac{l}{2\pi}$

(10) $V = \frac{1}{3}r^2h$ [h]
 $\frac{1}{3}r^2h = V$
 $\frac{r}{r^2} \times \frac{1}{3}r^2h = \frac{3}{r^2} \times V$
 $h = \frac{3V}{r^2}$

/ 100

2年1章式の計算 プリント No. 21
 [等式の変形3 (教科書 29 ページ章の問題 B4)]

年 組 番氏名 _____ 月 _____ 日 実施

解答

33 次の問いに答えなさい。(25点)
 (1) おうぎ形の弧の長さを l 、半径を r とすると、面積 S は、

$$S = \frac{1}{2}lr$$

 と表すことができる。このことを示しなさい。

(1) おうぎ形の中心角を a° とすると、弧の長さ l は

$$l = 2\pi r \times \frac{a}{360} \dots\dots ①$$

と表される。また、面積 S は

$$S = \pi r^2 \times \frac{a}{360} \dots\dots ②$$

ここで、①の式の両辺に $\frac{1}{2}r$ をかけると、

$$\frac{1}{2}lr = \pi r^2 \times \frac{a}{360} \dots\dots ③$$

②、③より、 $S = \frac{1}{2}lr$

34 次の問いに答えなさい。(各 25点)
 (1) 半径 3cm、弧の長さ 2π cm のおうぎ形があります。このおうぎ形の面積を求めなさい。

②の結果から

$$\frac{1}{2} \times 2\pi \times 3$$

$$= 3\pi$$

$$3\pi \text{ cm}^2 //$$

(2) 半径 r の円があります。この円の半径を 2 倍にすると、面積は何倍になりますか。

半径 r の円の面積 πr^2 と $4\pi r^2$ と比較すると

$$r \times r \times \pi = \pi r^2$$

$$2r \times 2r \times \pi = 4\pi r^2$$

面積は 4 倍になる

4 倍 //

(3) 半径 r の円があります。この円の半径を $\frac{1}{2}$ にすると、面積はどうなりますか。

半径 r の円の面積 πr^2 と $\frac{1}{4}\pi r^2$ と比較すると

$$\pi r^2$$

面積は $\frac{1}{4}$ 倍になる

$$\frac{1}{2}r \times \frac{1}{2}r \times \pi = \frac{1}{4}\pi r^2$$

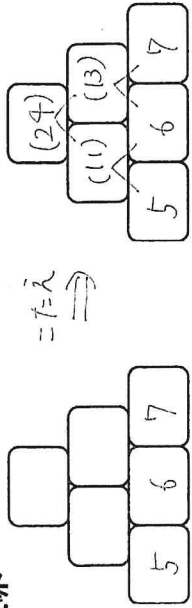
$\frac{1}{4}$ 倍 //

/ 100

おまけ 頭の体操

計算ピラミッド

例



二たえ

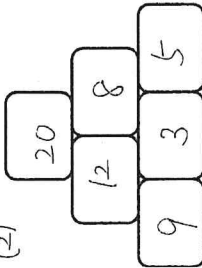
下の2つを足した数が上の数になる



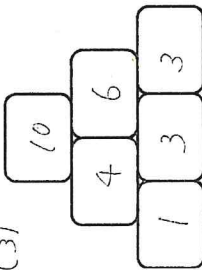
(1)



(2)



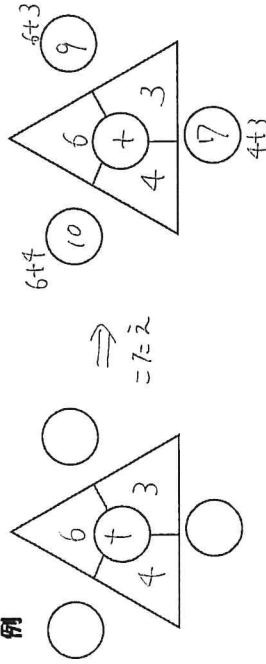
(3)



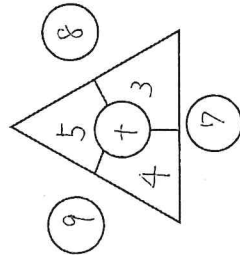
など

計算三角形

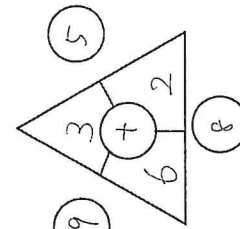
例



(1)



(2)



穴埋めパズル

$$\frac{ア}{イ} \times \frac{ウ}{エ} = \frac{1}{オ}$$

ただし、同じ数を 2 回以上使うことはできません。また、イとエは仮分数(分母の数と分子の数が等しい)または分子の数が大きい分数)でもよく、これ以上約分できない分数です。このとき、オに当てはまる数を答えなさい。

$$\frac{4}{9} \times \frac{3}{8} = \frac{1}{6}$$

6 //

1 次の多項式の項を求めなさい。また、何次式か答えなさい。

(1) $x^2 \div \frac{1}{2}x + \frac{3}{8}$

(2) $\frac{3}{4}a \div \frac{1}{3}b + \frac{b}{2}$

(3) $\frac{1}{2}x^2y^2 \div \frac{1}{3} \div \frac{3}{4}xy^2 \div xy$

| | | |
|-----|--|-----|
| 1 | 項 $x^2, -\frac{1}{2}x, \frac{3}{8}$ | 2次式 |
| (2) | 項 $\frac{3}{4}a, \frac{1}{3}b, -\frac{b}{2}$ | 1次式 |
| (3) | 項 $\frac{1}{2}x^2y^2, \frac{1}{3}, -\frac{3}{4}x^2y^2, xy$ | 5次式 |

2 次の計算をしなさい。

(1) $0.2x^2 + 3 - 0.5x^2 - 2$

$= 0.2x^2 - 0.5x^2 + 3 - 2$

$= -0.3x^2 + 1$

(2) $\frac{1}{2}x + \frac{1}{3} - \frac{1}{4}x$

$= \frac{1}{2}x - \frac{1}{4}x + \frac{1}{3}$

$= \frac{1}{4}x + \frac{1}{3}$

(3) $\frac{x^2 + 9xy - 3y^2}{4} - \frac{2x^2 - 5xy + y^2}{2}$

$= -x^2 + 4xy - 2y^2$

(4) $\frac{x^2}{5} + \frac{x}{2} - \frac{4}{3}x^2 - \frac{1}{4}x$

$= \frac{3}{15}x^2 - \frac{20}{15}x^2 + \frac{2}{4}x - \frac{1}{4}x$

$= -\frac{17}{15}x^2 + \frac{1}{4}x$

(5) $\frac{3}{2}x^2 - \frac{xy}{4} + \frac{1}{5}y^2 - \frac{2}{3}x^2 - \frac{1}{2}xy - \frac{y^2}{6}$

$= \frac{9}{6}x^2 - \frac{4}{6}x^2 - \frac{xy}{4} - \frac{xy}{4} + \frac{6}{30}y^2 - \frac{5}{30}y^2$

$= \frac{5}{6}x^2 - \frac{1}{2}xy + \frac{1}{30}y^2$

1 次の計算をしなさい。

(1) $(\frac{2}{3}x^2 + \frac{3}{4}xy - 2y^2) + (x^2 - \frac{xy}{2} + \frac{y^2}{5})$

$= \frac{2}{3}x^2 + x^2 + \frac{3}{4}xy - \frac{xy}{2} - 2y^2 + \frac{y^2}{5}$

$= \frac{5}{3}x^2 + \frac{xy}{4} - \frac{9}{5}y^2$

(2) $(x - \frac{y}{4}) - (\frac{3}{2}x + \frac{7}{4}y)$

$= x - \frac{y}{4} - \frac{3}{2}x - \frac{7}{4}y$

$= -\frac{1}{2}x - \frac{8}{4}y$

$\rightarrow = -\frac{1}{2}x - 2y$

(3) $(2x^2 + 4x - 6) \times (-\frac{1}{2})$

$= -x^2 - 2x + 3$

(4) $(\frac{2}{3}x^2 - \frac{3}{4}xy - \frac{5}{12}y^2) \div (-\frac{1}{12})$

$= (\frac{2}{3}x^2 - \frac{3}{4}xy - \frac{5}{12}y^2) \times (-12)$

$= -8x^2 + 9xy + 5y^2$

(5) $0.4(x + 2y + 2) + 0.7(x + 2y - 3)$

$= 0.4x + 0.8y + 0.8 + 0.7x + 1.4y - 2.1$

$= 1.1x + 2.2y - 1.3$

(6) $0.1(4x - 3y - 2) - 0.5(4 - 3x + 5y)$

$= 0.4x - 0.3y - 0.2 - 2.0 + 1.5x - 2.5y$

$= 1.9x - 2.8y - 2.2$

(7) $\frac{3(a - 3b + 2)}{4} - \frac{2(b - 2a + 1)}{5}$

$= \frac{5 \times 3(a - 3b + 2)}{20} - \frac{5 \times 2(b - 2a + 1)}{20}$

$= \frac{15a - 45b + 30}{20} - \frac{10b - 20a + 10}{20}$

$= \frac{25a - 55b + 20}{20} = \frac{5a - 11b + 4}{4}$

(8) $\frac{3x - y + 5}{4} - \frac{x - 3y + 7}{3} + \frac{1 - y - 2x}{6}$

$= \frac{9x - 3y + 15 - 4x + 12y - 28 + 2 - 2y - 4x}{12}$

$= \frac{x + 7y - 11}{12}$

| | |
|-----|--|
| 1 | (1) $\frac{5}{3}x^2 + \frac{xy}{4} - \frac{9}{5}y^2$ |
| (2) | $-\frac{1}{2}x - 2y$ |
| (3) | $-x^2 - 2x + 3$ |
| (4) | $-8x^2 + 9xy + 5y^2$ |
| (5) | $1.1x + 2.2y - 1.3$ |
| (6) | $1.9x - 2.8y - 2.2$ |
| (7) | $\frac{5a - 11b + 4}{4}$ |
| (8) | $\frac{x + 7y - 11}{12}$ |

1 次の計算をしなさい。

(1) $(2x) \times (-\frac{1}{3}y)$
 $= 4x^2 \times (-\frac{1}{3}y)$
 $= -\frac{4}{3}x^2y$

(2) $(\frac{1}{3}x^2) \times (-\frac{2}{3}x)^3 \times (-2x^2)$
 $= \frac{1}{9}x^4 \times (-\frac{2^3}{27}x^3) \times (-2x^2)$
 $= +\frac{3}{4}x^9$

(3) $(-6a^3) \div 2a$
 $= (-6a^3) \times \frac{1}{2a}$
 $= -3a^2$

(4) $(2ab)^2 \div (-2ab^2)$
 $= 4a^2b^2 \times (-\frac{1}{2ab^2}) \rightarrow = -2a$

(5) $(-\frac{2}{3}xy) \div (-\frac{4}{5}y)$
 $= (-\frac{2}{3}xy) \div (-\frac{4}{5}y) \times \frac{5}{5} \rightarrow = -\frac{5x}{6}$
 $= (-\frac{2}{3}xy) \times \frac{5}{4y} \times \frac{5}{5} \rightarrow = -\frac{5x}{6}$

(6) $8x \div (-\frac{4}{5}x^2)$
 $= 8x \times (-\frac{5}{4x^2})$
 $= -\frac{10}{x}$

| | |
|-----|--------------------|
| (1) | $-\frac{4}{3}x^2y$ |
| (2) | $\frac{3}{4}x^9$ |
| (3) | $-3a^2$ |
| (4) | $-2a$ |
| (5) | $-\frac{3x^2}{8y}$ |
| (6) | $-\frac{10}{x}$ |
| (7) | $\frac{1}{2}a$ |
| (8) | $3a^3b^2$ |

(8) $a^3b \times (-3ab^2)^3 \div \{(-3a^2b^3)^2 \div (-ab)\}$
 $= a^3b \times (-27a^3b^6) \div \{9a^4b^6 \times (-\frac{1}{ab})\}$
 $= a^3b \times (-27a^3b^6) \div (-9a^3b^5)$
 $= a^3b \times (-27a^3b^6) \times (-\frac{1}{9a^3b^5})$
 $= 3a^3b^2$

1 x, y が次の値のとき、 $\frac{3}{4}x + \frac{1}{2}y^2$ の値を求めなさい。

(1) $x = \frac{1}{2}, y = -2$
 $\frac{3}{4}x + \frac{1}{2}y^2 = \frac{3}{4} \times \frac{1}{2} + \frac{1}{2} \times (-2)^2$
 $= \frac{3}{8} + \frac{1}{2} \times 4$
 $= \frac{3}{8} + \frac{16}{8} = \frac{19}{8}$

(2) $x = -8, y = -\frac{2}{3}$
 $\frac{3}{4}x + \frac{1}{2}y^2 = \frac{3}{4} \times (-8) + \frac{1}{2} \times (-\frac{2}{3})^2$
 $= -6 + \frac{1}{2} \times (\frac{4}{9}) \rightarrow = -\frac{52}{9}$

1

| | |
|-----|-----------------|
| (1) | $\frac{19}{8}$ |
| (2) | $-\frac{52}{9}$ |

2 $x = -2, y = \frac{1}{3}$ のとき、次の式の値を求めなさい
 先に式を整理する

(1) $18xy^2 \div 4xy \times (-2x^2y)$
 $= 9x^2y^2 \times \frac{1}{4xy} \times (-2x^2y)$
 $= -9x^2y^2$
 $= -9 \times (-2)^2 \times (\frac{1}{3})^2$
 $= 27xy^2 \div 3y \times (-2xy)^2$
 $= 27x^2y^2 \times \frac{1}{3y} \times 4x^2y^2$
 $= 36x^3y^3$
 $= 36 \times (-2)^3 \times (\frac{1}{3})^3$
 $= 36 \times (-8) \times \frac{1}{27} = -\frac{32}{3}$

2

| | |
|-----|-----------------|
| (1) | -4 |
| (2) | $-\frac{32}{3}$ |

3 $A = x - 2y, B = 5x + y, C = -2x - 3y$ のとき、
 $5A + 3B - 2(A - B) - C$ を x, y を用いて表しなさい。
 $5A + 3B - 2(A - B) - C = 5A + 3B - 2A + 2B - C$
 $= 3A + 5B - C$
 $= 3 \times (x - 2y) + 5 \times (5x + y) - (-2x - 3y)$
 $= 3x - 6y + 25x + 5y + 2x + 3y$
 $= 30x + 2y$

3

| | |
|--|------------|
| | $30x + 2y$ |
|--|------------|

1 次の等式を [] 中の文字について解きなさい。

(1) $y = \frac{a}{x}$ [x]

$xy = a$
 $x = \frac{a}{y}$

(2) $D = \frac{1}{2}mr$ [r]

$\frac{1}{2}mr = D$
 $r = \frac{2D}{m}$

(3) $B = \frac{\pi r^2 x}{360}$ [x]

$360B = \pi r^2 x$
 $\pi r^2 x = 360B$
 $x = \frac{360B}{\pi r^2}$

(4) $2x : y = 5 : 3$ [y]

$6x = 5y$
 $5y = 6x$
 $y = \frac{6}{5}x$

24

(5) $\frac{x}{3} + \frac{y}{8} = 1$ [y]

$\frac{y}{8} = -\frac{x}{3} + 1$
 $y = -\frac{8}{3}x + 8$

(6) $V = h\left(n + \frac{t}{7}\right)$ [t]

$h\left(n + \frac{t}{7}\right) = V$
 $h + \frac{t}{7} = \frac{V}{h}$
 $t = -7n + \frac{7V}{h}$

(7) $\frac{1}{a} + \frac{1}{b} = 1$ [b]

$\frac{1}{b} = 1 - \frac{1}{a}$
 $\frac{1}{b} = \frac{a-1}{a}$
 $b = \frac{a}{a-1}$

(8) $\frac{1}{xy} + \frac{1}{yz} + \frac{1}{zx} = \frac{1}{x}$ [x]

$\frac{1}{y} + \frac{1}{yz} + \frac{1}{z} = 1$
 $\frac{z}{yz} + \frac{1}{z} + 1 = 1$
 $x = -z - y + yz$

| | |
|-----|----------------------------|
| (1) | $x = \frac{a}{y}$ |
| (2) | $r = \frac{2D}{m}$ |
| (3) | $x = \frac{360B}{\pi r^2}$ |
| (4) | $y = \frac{6}{5}x$ |
| (5) | $y = -\frac{8}{3}x + 8$ |
| (6) | $t = -7n + \frac{7V}{h}$ |
| (7) | $b = \frac{a}{a-1}$ |
| (8) | $x = -z - y + yz$ |